

## 「全力すぎる 大分県豊後高田市」 Vol.34

### 3/10(土)全国ロードショー「坂道のアポロン」 ロケ地・豊後高田市で映画公開記念イベントを開催

大分県豊後高田市がリリースする「全力すぎる 大分県豊後高田市」Vol.34 です。  
豊後高田市の魅力満載情報を全力でお届けします。

#### 【Contents】

- 映画「坂道のアポロン」公開記念イベントを開催
- 全力発展中な豊後高田市

#### 【■映画「坂道のアポロン」公開記念イベントを開催】



豊後高田市では、平成 29 年 5 月に市内で撮影が行われた映画「坂道のアポロン」（3 月 10 日（土）全国ロードショー）の公開記念イベントを、3 月 1 日（木）から開催します。

イベントでは、多くの方にロケ地・豊後高田市を楽しんでいただくために、撮影で使用されたセットや映画のシーン写真のパネルを展示した企画展、オリジナルグッズがもらえるロケ地巡りスタンプラリーなどを開催します。

<映画公開記念イベント>

■「坂道のアポロン」展

地下室で薫が使用したピアノやソファなどの撮影セットや、映画のシーン写真等のパネルを展示しています。

来場者にはオリジナルポストカードをプレゼントします。

- 期間 平成30年3月1日～
- 場所 昭和の町展示館（中央通商店街）  
10時～17時（火曜休館）

■ロケ地巡りスタンプラリー

市内のロケ地など4か所を巡って、スタンプを集めた先着1,000名様にオリジナルランチトートバッグをプレゼントします。

※スタンプラリーはお一人様1回・1枚限り

※プレゼントがなくなり次第終了となります。

- 期間 平成30年3月1日～
- 台紙配布場所 昭和ロマン蔵案内所  
8時30分～17時



■ロケ地ガイドマップ

ロケ地の写真とエピソードを掲載した「ロケ地マップ」をお配りしています。マップを見ながら、ロケ地巡りをお楽しみください。

- 配布場所 昭和ロマン蔵案内所、昭和の町商店街 ほか

●ロケ地マップダウンロード (PDF ファイル)

<http://www.city.bungotakada.oita.jp/js/finder/upload/files/freepage/kikaku/kikaku4/%E3%83%AD%E3%82%B1%E5%9C%B0%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%97.pdf>

映画「坂道のアポロン」のロケ地を巡ろう



KIDS ON THE SLOPE

豊後高田市  
OITA

**TRACK-01**  
**BUNGO TAKADA CITY**  
豊後高田市



**1 ムカエレコード地下室**  
(旧金谷製糖工場)  
工場内にセットを建込み、薫が千太郎、淳一、勉とジャズセッションをするシーンを撮影。律子や百合香を含めた切ない恋模様も描かれた場所です。

**2 千太郎の家**  
(路地の一軒家 / 是永町)  
千太郎が母・姉たちと暮らす家として登場。ここで薫とスイカを食べながら恋の作戦会議をする場面も。

→昭和の町までのルート

---

**BUNGOTAKADA CITY SHOWANOMACHI**  
昭和の町



昭和30年代の商店街の街並みをそのままに、古き良き昭和の面影が残る「昭和の町」。週末には実際に撮影で使用したボンネットバスが商店街を走り、懐かしさの中にもどこか新鮮さがある全体的に脚光を浴びている場所です。



**access** 豊後高田市[昭和の町]へのアクセス

[大分交通 エアライナー]  
大分空港→豊後高田市(約50分)  
詳しくは豊後高田市観光まちづくり株式会社まで  
☎0978-23-1860

ホームページでも確認できます▶  
[www.showanomachi.com/jaccs/](http://www.showanomachi.com/jaccs/)





KIDS ON THE SLOPE



**3** バイクで駆け抜ける商店街 (駅通り商店街)  
千太郎の運転するバイクに乗った律子が、薫への想いを打ち明けようとするシーンで使われた商店街です。



**4** 淳一が暮らすアパート (次郎丸アパート)  
大学を辞め故郷に戻ってきた淳一。彼に想いを寄せる百合香との、今後の行く末を決める重要なシーンで登場します。



**5** 千太郎と律子がバイクで通った商店街 (新町2丁目商店街)  
クリスマス当日、千太郎が後ろに律子を乗せバイクで走った商店街として撮影。物語を大きく左右する重要な場面です。



**6** 千太郎の家 (路地の一軒家 / 新町)  
千太郎の家の玄関として撮影。薫と千太郎が楽しく言い合いするシーンを撮影しました。



**7** ムカエレコード AR (野村電機商会)  
律子の実家であり物語のシンボリックな場所として登場。薫と律子の切ない糸電話のシーンもここで撮影しました。



**8** ムカエレコードがある商店街 (新町1丁目商店街)  
ムカエレコードがある商店街として随所に登場。撮影中は、異国情緒漂う雰囲気を出しました。



**9** 赤い公衆電話があった商店街 (銀座街商店街)  
薫が律子に電話するシーンで登場。普段は道路にトラックアートが描かれていて、歩くだけでも楽しい商店街。



**10** 薫が律子に電話した店 (かどヤストアール)  
店の前に設置した赤い公衆電話から、薫が律子に電話をかけて、回答態に誘うシーンを撮影しました。



**11** 淳一のアパートまでの道 (中央公民館植石階段)  
アパートから出て来た淳一と百合香に、千太郎が絡み合わせるシーンを撮影しました。



**12** 薫が駆けつけた病院 (安部内科)  
物語の後半で、薫が息を切らして駆けつけた病院。廊下と病室で撮影しました。



**13** キスした神社 (天神社境内)  
激しい雨を降らせ、雨宿りする薫と律子のキスシーンを撮影した神社。千太郎の幼少期の回想シーンでも登場。



**14** クリスマスに賑わう通り (金谷製菓倉庫)  
敷地内を撮影し賑やかな様子を演出。パーティを持ちきれず、千太郎が律子とバイクで薫を迎えに行く場面でも登場。

**AR** ※このマークのあるロケ地では、ARアプリを使って映画「坂道のアポロン」のワンシーンの記念撮影ができます。

## ■セット再現ARアプリ

無料スマホアプリ「COCOAR2（ココアル2）」で、撮影当時の「ムカエレコード」がスマホ上に現れます。そのまま記念撮影もできます。

①無料アプリをダウンロード

②ロケ地（野村電機商会）をスキャン

●期間 平成30年3月1日～

●場所 野村電機商会（新町1丁目商店街）

※通信環境、天候、時間帯により動作しない場合があります



## ▼イベント詳細

URL：<http://www.city.bungotakada.oita.jp/events/detail/384>

（問い合わせ：豊後高田市観光まちづくり株式会社 ☎0978-23-1860

## ＜豊後高田市ロケ地をホームページで紹介＞

撮影は豊後高田市を代表する観光スポット「豊後高田昭和の町」を中心に行われました。

「昭和の町」観光と併せてロケ地巡りをお楽しみいただけるよう、市内で撮影があった各ロケ地を市公式ホームページで紹介しています。

## ▼映画「坂道のアポロン」 豊後高田市ロケ地の紹介

[http://www.city.bungotakada.oita.jp/page/page\\_04045.html](http://www.city.bungotakada.oita.jp/page/page_04045.html)

## ＜映画「坂道のアポロン」＞

原作は、名作少女コミック「坂道のアポロン」（小玉ユキ作）で、2012年にはアニメ化もされた人気作品です。

主演の知念侑李さんをはじめ、中川大志さん、小松菜奈さん、ディーン・フジオカさんなど実力派キャストが出演。監督は、「僕等がいた」や「ホットロード」などを手がけた青春映画の名手・三木孝浩監督です。

■映画「坂道のアポロン」公式サイト

<http://www.apollon-movie.com/>

<豊後高田昭和の町とは>

「豊後高田昭和の町」は、昭和30年代の懐かしい街並みが今なお残る商店街です。

昭和の町の各商店は、“一店一宝”として、その店の歴史を物語る昭和のお宝を展示し、また、“一店一品”として、そのお店自慢の昭和の商品を販売しています。

昭和32年式のボンネットバスが土・日・祝日を中心にまちなかを無料運行。車掌の楽しいガイドで、車内は常に笑い声が響き渡っています。

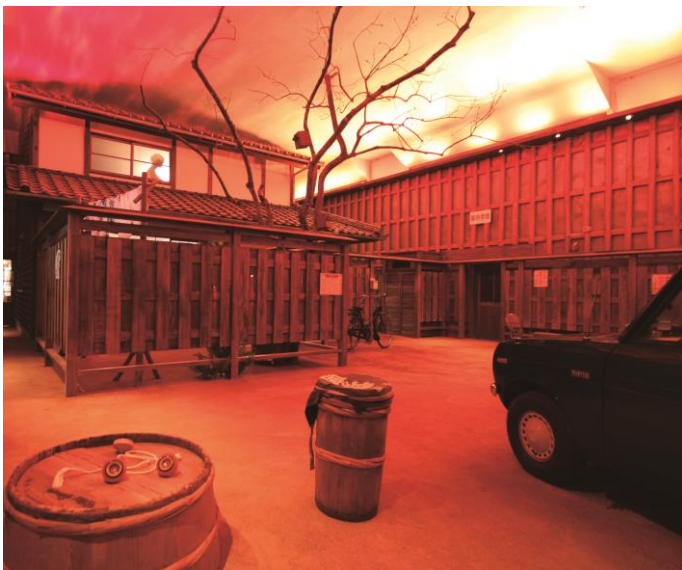
至るところで昭和の香りがする昭和の町商店街。ぶらりと歩けば、どこか懐かしいあの時代に出逢えることでしょう。



↑「豊後高田昭和の町」の街並みとボンネットバス



↑懐かしいおもちゃの数々が並ぶ「駄菓子屋の夢博物館」(昭和ロマン蔵内)



↑昭和30年代の民家や商店、学校の教室を再現した「昭和の夢町三丁目館」(昭和ロマン蔵内)



↑最新テクノロジーの体験型デジタルアート「チームラボギャラリー昭和の町」(昭和ロマン蔵内)



↑商店街にトリックアート「玉津プラチナ通り」(銀座街商店街・中町商店街)

▼昭和の町のたのしみかた（市公式観光サイト）

<https://www.showanomachi.com/special/syowa.html>

【■全力発展中な豊後高田市】

豊後高田市は、平成 27 年 3 月 31 日に新市誕生 10 周年を迎え、新たなブランドコンセプトとして「全力発展中 豊後高田市」を掲げ、ブランドマークを制定しました。

このブランドマークは、まちが全力で挑んでいく「熱気や情熱」を表現しています。

豊後高田市は、市民一人ひとりが何事にも「全力」で取り組み、「夢をかたちに 未来に光り続けるまち」の実現に向けて全力で発展し続けます。

